

## 株式会社クレディセゾン(8253) 2011年度4-12月期決算発表

経常利益 389 億円(前年同期比 25.5%増) 純利益 214 億円(同 13.0%増)

クレディセゾンの 2011 年度 4-12 月期の連結決算は、営業収益 1,915 億円(前年同期比 12.6%減)、経常利益 389 億円(同 25.5%増)、純利益 214 億円(同 13.0%増)となりました。当該連結累計期間の業績概況は次の通りです。

### 1.営業収益概況(営業収益:1,915 億円 前年同期比 12.6%減)

主力の「クレジットサービス事業」において、ショッピング取扱高の拡大を目的にセゾン・アメリカン・エクスプレス<sup>®</sup>・カードをはじめ稼働率の高いプレミアムカードの獲得や、Yahoo!JAPAN との ID・ポイント連携など有力企業との提携によるカード利用特典の拡充に注力いたしました。また、当社のポイントプログラム「永久不滅ポイント」でのネットショッピング決済を開始するなど、ネットサービス機能の向上によるネット会員拡大とフィービジネスの拡充など、収益力の強化にも注力いたしました。キャッシング収益については貸金業法改定に伴う総量規制の影響により減少しましたが、法規制の影響が一巡し、取扱高の前年減少幅は着実に改善してきております。これらの結果、同事業全体での営業収益は前年同期比 14.9%減の 1,494 億円(セブンCSカードの影響を除く前年同期比 11.6%減)となりました。

「リース事業」では、既存取引先への営業強化及び新規提携販売店の拡大等を行い、営業収益は前年同期比 1.3%増の 110 億円となりました。

「ファイナンス事業」では、フラット 35 の実行件数拡大により収益が増加する一方、信用保証事業において提携金融機関と密接な連携が図れたことで保証実行額が増加したものの、不動産担保ローン残高が減少した結果、同事業全体の営業収益は前年同期比 1.9%減の 113 億円となりました。

「不動産関連事業」では、資産の入れ替えや圧縮など資産効率の向上に取り組み、販売用不動産の売却を進めましたが、同事業利益は前年同期比 5.0%減の 97 億円となりました。

### 2.経常利益・純利益概況(経常利益:389 億円 前年同期比 25.5%増 純利益:214 億円 同 13.0%増)

債権管理の強化による初期未入債権の減少及び弁護士等による第三者介入債権の沈静化に伴う貸倒コストの減少に加え、その他経費のコスト効率向上により、営業費用は前年同期比 18.6%減の 1,575 億円となりました。また、カード合弁会社をはじめとした持分法適用の関連会社の業績が順調に推移し、持分法投資利益が前年同期比 63.6%増の 25 億円と貢献し、経常利益・純利益ともに増益となりました。

なお、2011 年度通期の業績予想につきましては、前回公表(2011 年 11 月 9 日)通りとしております。

◆2011 年度 4-12 月期の単体業績 ( )前年同期比

営業収益	:	1,587 億円	(13%減)
経常利益	:	315 億円	(41%増)
純利益	:	168 億円	(35%増)

◆2011 年度 4-12 月期の単体カード指標 ( )セブンCSカード事業分割  
の影響除く前年同期比

(1)新規カード開拓枚数	:	186 万枚	(3%減)
(2)新規カード発行枚数	:	143 万枚	(7%減)
(3)カード総会員数	:	2,478 万人	(2%減)
(4)稼働会員数	:	1,289 万人	(1%増)
(5)稼働率	:	52.0%	(1%増)
(6)カードショッピング取扱高	:	2 兆 5,561 億円	(2%増)
(7)カードショッピングリボ残高	:	2,646 億円	(3%増)
(8)カードキャッシング取扱高	:	2,036 億円	(26%減)
(9)カードキャッシング残高	:	3,024 億円	(25%減)

以上